



絆 Kizuna

学校教育目標 「自立貢献」

夢を持ち 自分で考え 判断し 行動できる生徒

HP : <http://www.ednet.tamano.okayama.jp/jhs-hibi/>

入学式より

少し大きめの新しい制服に袖を通し、36名の新入生が日比中学校に登校してきました。山々の黄色のミモザと日比中学校を囲む桜。そして、突き抜けるような青空が入学をお祝いしていました。感染症予防のため残念ながら式に参加できない上級生が、その分の思いを前日、会場設営、清掃活動、1年生の教室準備に費やし、万全の体制で入学式を迎えることができました。

来賓を迎えることができなかったため式自体は早く終わりましたが、担任の先生の指示のもと、「ピン」と背筋を伸ばし、堂々と体育館に入場する生徒の様子に感動を覚えました。これから3年間と言えば長いように感じますが、学校に登校する日数は年間およそ190日、全て6時間の授業を行ったとして、3年間で先生から色々なことを学ぶ時間は3,420時間です。実際には行事もあるのもっと少なくなりますが、これを「これだけあるのなら」と感じるのか「これだけしかないのか」と感じるのかはあなた次第です。どう取り組むかも人それぞれだと思いますが、時間は誰にも平等です。そして、3年後に卒業を迎えます。

上級生も含め、「まだ時間がある」と考えるのではなく、これだけしかない時間を「一生懸命に生きる」ことを考えてほしいと思います。皆さんには限りない可能性があります、一方でその時間がどんどん減っていることにも気づいてほしいと思います。今後の人生を決める大切な3年間で、この日比中学校で有意義に過ごしてほしいと思います。



「校長式辞」より

こうなってほしいという気持ちは毎年変わりません。今年の入学式でも、新入生に、これからの中学校生活で大切にしてほしい3つを話しました。

1つ目は、「当たり前が当たり前でできる生徒になる」ということです。「授業をきちんと受ける」「あいさつをする」「相手が嫌がったり悲しんだりすることはしない」「人の話をきちんと聴く」「学校や社会の決まりやルールを守る」など、どれも考えてみれば当たり前のことですが、できそうで、なかなかできないものです。ぜひ、中学生として、人として、当たり前のことが当たり前でできるようになってほしいと願っています。そうすれば、心も大きく成長し、皆さんのこれからの生活が、間違いなく、楽しく充実したものになります。自己マネジメントのできる生徒になりましょう。

2つ目は、「何事にも本気で取り組む」ということです。本気でやれば、楽しくなります。本気でやればたいいのことはできます。本気でやれば、困ったときに誰かが助けてくれます。どうか、何事にも本気でぶつかっていきましょう。「努力して結果が出ると自信になる」「努力して結果が出なくても、経験が残る」でも、「努力せず結果が出ないと後悔が残る」「努力せず結果が出ると、傲（おご）りが残る」何を残すかは皆さん次第です。

3つ目は、「周りの人も自分も大切にしてほしい」ということです。人は一人では生きてはいけません。家族や地域の人など多くの人の支えがあって、今の自分があることを忘れてはいけません。周りの人を大切にし、困っている友達がいたら、手を差し伸べることができる人になってください。

そして、周りの人と同じように、いえ、それ以上に自分を大切にしてください。自分を大切にすることはどういうことでしょうか。皆さんは、未来に大きな可能性をもっています。その可能性を、もっと広げ、なりたい未来の自分に近づくことが、自分を大切にすることです。間違っても、その可能性を自分でつぶすようなことをしてはいけません。

「自立・貢献」を教育目標に掲げ、本校では教育活動に日々取り組んでいます。夢を持ち、自分で考え、判断し、行動できるようになるよう、この学び舎で3年間頑張りましょう。

学年	担 当	氏 名	教 科	備 考
1 学 年	学年主任	合田 治子	国語	
	1A担任	守時 優里	理科	
	IJ副担任・学年副担任	藤森 賢治	美術	玉中兼務(木・金 午前)
2 学 年	学年主任	河合 泰伸	数学	生徒指導主事
	2A担任	柳井 泰功	保健体育	
	2B担任	藤木 里奈	英語	
	I組担任・学年副担任	木口 乃文	英語	
	IJ副担任・学年副担任	井上安佐子	保健体育	8/1から復帰
3 学 年	学年主任	原崎 敦史	数学	教務主任
	3A担任	兼本 亜美	社会	
	3B担任	西川 友芽	英語	
	J組担任・学年副担任	児島恵美子	家庭科	備南高兼務(火 午後)

各学年の、教科担当の先生は学年だよりでご確認ください。